

とみや市政懇談会 資料



**富谷宿観光交流ステーション
(愛称：とみやど)
2021年4月17日(土)
グランドオープン!!**

作成：富谷市企画部企画政策課

次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 後期基本計画の概要説明
- 5 懇談
- 6 閉会

富谷市総合計画・後期基本計画について

とみや市政懇談会資料

【目次】

1. 後期計画の策定について
2. 総合計画の体系について
3. 総合計画基本構想
4. 人口フレーム
5. 社会状況の変化
6. 前期基本計画期間の取組と成果
7. まちづくりアンケートの概要
8. 後期基本計画期間中の主な取組

1. 総合計画・後期基本計画の策定について

総合計画とは？

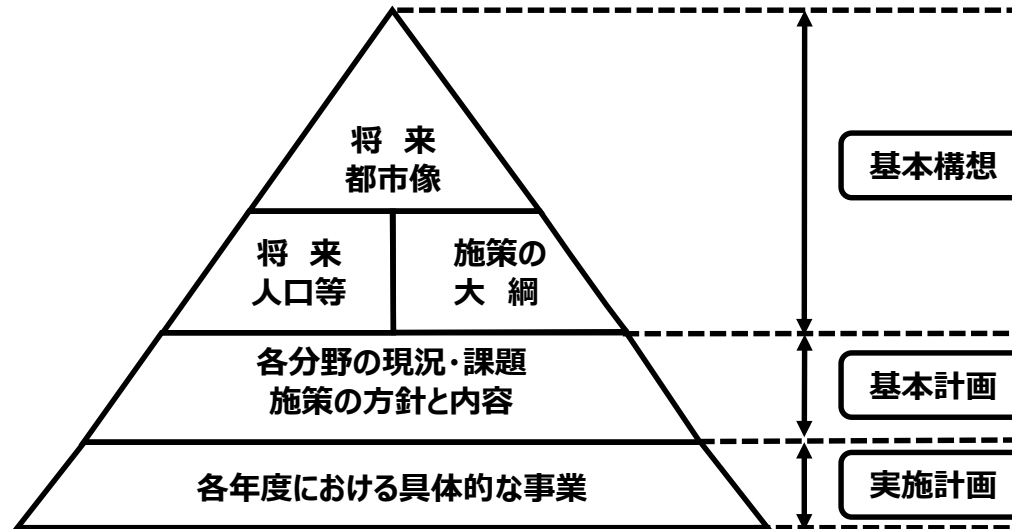
進むべきまちづくりの方向を見定め、それに向かって取り組んでいくための指針で、市町村における「まちづくりの最も基本となる計画」です。

富谷市総合計画・後期基本計画の策定趣旨

現在の総合計画基本構想は、平成28年度の市制施行と同時に、令和7年度までの10年間の計画期間とし、策定しています。現在は、平成28年度から令和2年度の5年間の計画期間とする前期基本計画の最終年度となっています。

前期基本計画の計画期間中の取組や課題を整理し、社会情勢などの環境の変化を加味しながら、新たな5年間の計画を策定します。

2. 総合計画の体系について

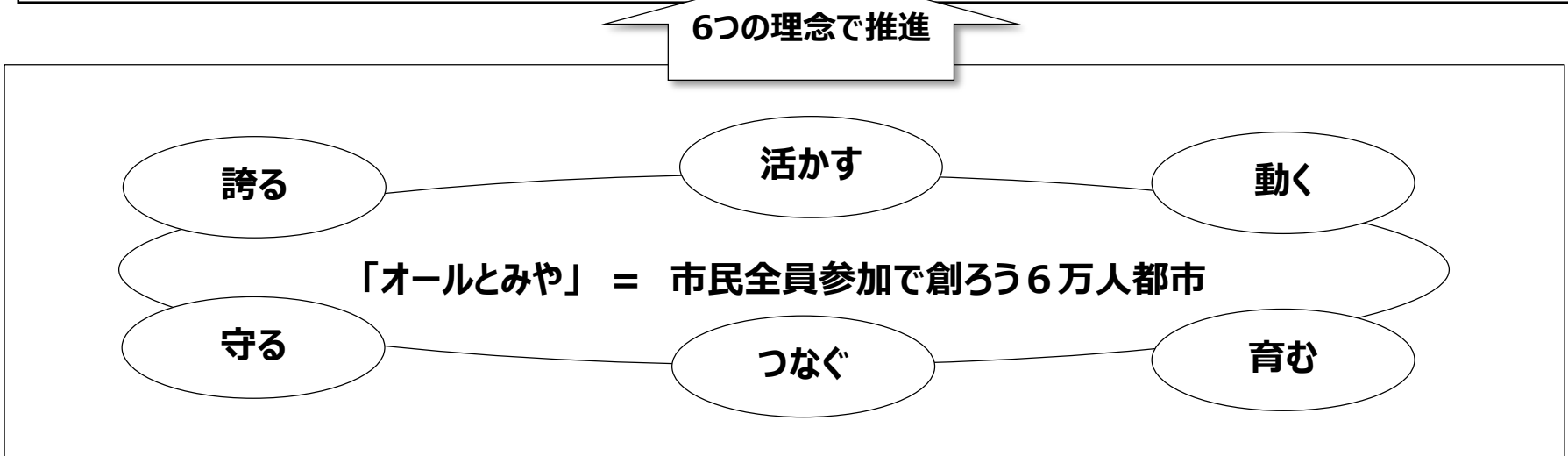
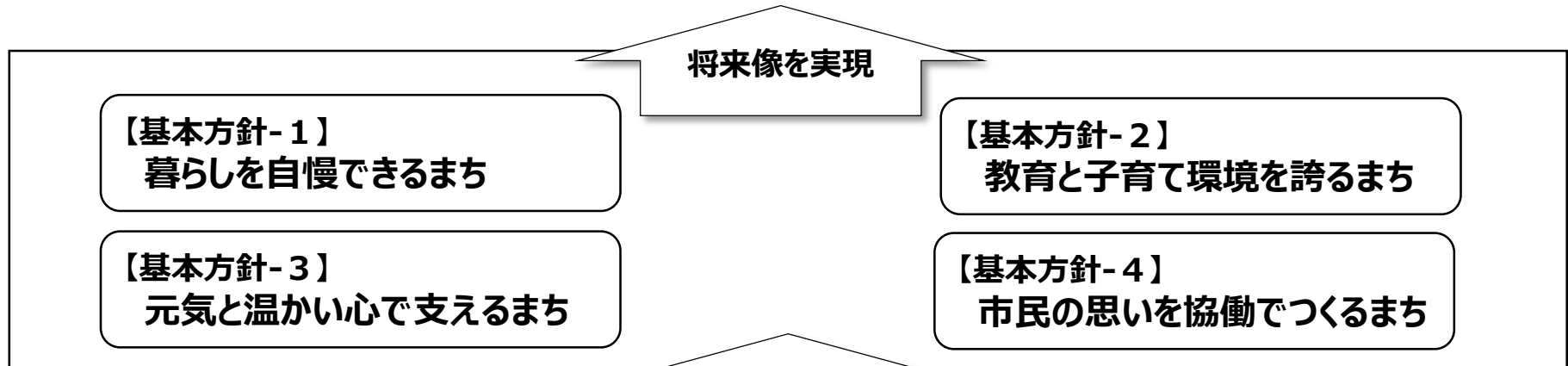


H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	基本構想（平成28年度～令和7年度）										
	基本計画（前期：H28～R2）					基本計画（後期：R3～R7）					
	実施計画（3年間）										
		実施計画（3年間）									
			実施計画（3年間）			※以降ローリングにて策定					

3. 総合計画基本構想

【まちづくりの将来像】

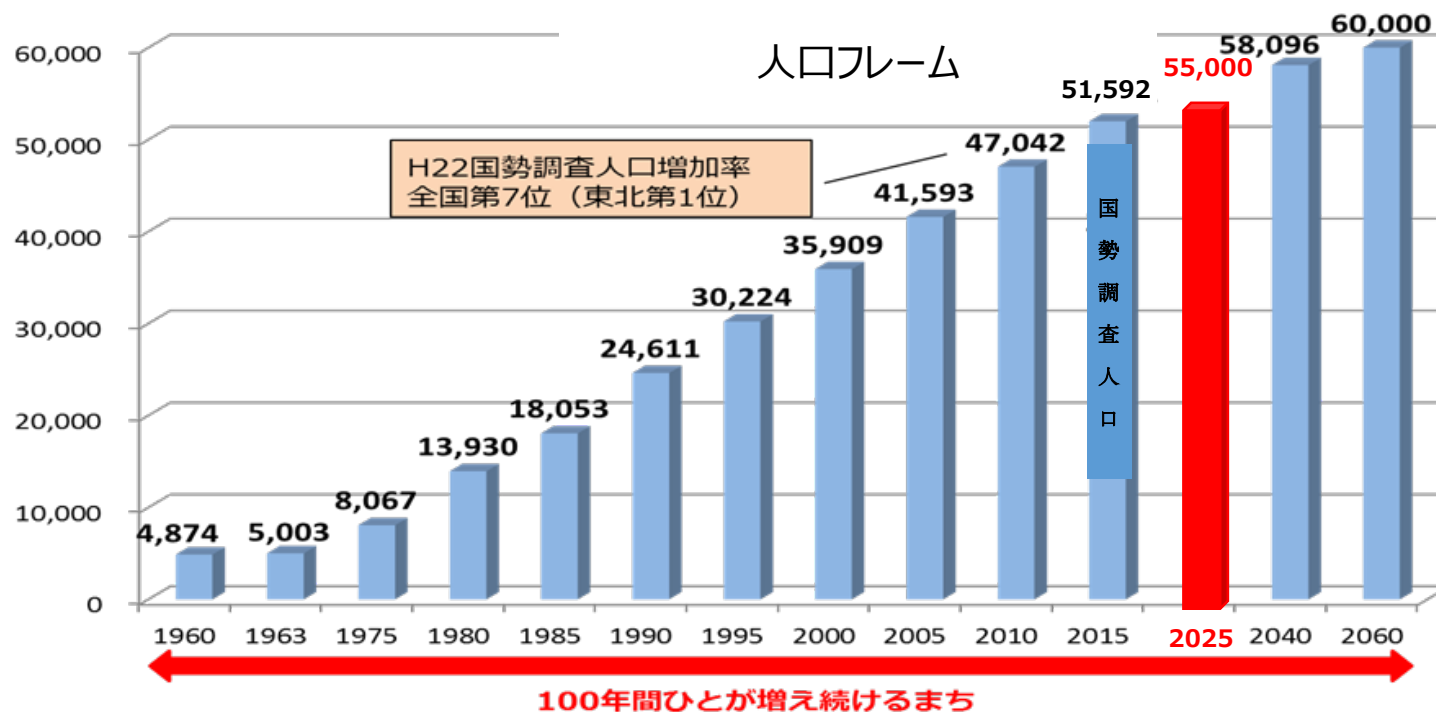
「住みたくなるまち 日本一」～ 100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ ～



4. 総合計画における人口フレーム

目標人口

平成28年度の基本構想策定時に設定した、本計画の目標年次である令和7年（2025年）での本市の目標人口は、55,000人としています。後期基本計画においても、各種施策の展開により、目標人口の達成を目指します。



5. 社会状況の変化（取り入れるべき視点）

1 SDG s（持続可能な開発目標）の推進

国連が採択した“2030年までに達成すべき17の目標”と行政事務との結びつきを明確化し、事業目標の達成がSDG sの推進にも繋がることを可視化します。

⇒後期計画の各分野に17のゴールを可視化



2 Withコロナ・Afterコロナを見据えた市政運営

2020年に発生・拡大した新型コロナウイルス感染症は、これまでの生活を一変させ、これまでに進まなかった、テレワークや行政デジタル化の移行に拍車をかける要因となっています。新しい時代に沿った市政運営に向けた施策の展開を図ります。

⇒後期計画の施策の中で検討・記載

3 少子高齢化や人口減少問題への挑戦

SDG sの推進やコロナ禍によって、人の流れは以前と比較しても、東京一極集中から地方へと変革しています。地の利、人の利を生かした行政運営を行い、少子高齢化や人口減少問題などの諸課題の解決に向けて取り組んでいきます。

⇒各施策の展開・融合により持続可能なまちづくりを目指す

6. 前期基本計画期間の取組と成果

基本方針1：暮らしを自慢できるまち！（企業誘致・公共交通・道路・住環境など）

主な取組

○富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）の整備・運営

旧富谷町役場庁舎を国の地方創生拠点整備交付金を活用して、新たな起業家の発掘と継続的な支援のほか、様々な立場のヒトが集い繋がることで活気あふれるコミュニティの輪を創り、新しいモノやコトを生み出すための地方創生プラットフォームとして整備しました。起業塾である「富谷塾」の塾生は年々増加しており、レンタルオフィスも新たな事業者や誘致企業が入居しています。

○公共交通グランドデザインの策定

公共交通に関する課題の改善を望む声も多く挙がっている中で、本市の目指す都市交通体系の将来像やその実現に向けた施策等の基本的な構想を平成31年3月に取りまとめました。令和2年度は、このグランドデザインを具現化するための基本計画に基づき、市民バスの再編やデマンドバスの導入に取り組んでいます。

○（仮称）やすらぎパークとみやの整備

市外からの転入者が多い本市では、宗派を問わない墓地の需要が高まっていたことから、公営墓地の整備を図ることとしました。整備に際しては、「パークゴルフ場」を併設し、自然と調和した、施設全体が明るい公園のような雰囲気をもつ、安らぎとuringおいのある交流空間を創出します。令和5年度の供用開始を目指しています。

前期基本計画で設定した主な数値目標の成果

目標指標	目標値	実績値（令和元年度）
新規誘致・操業企業数	5社以上	8社
新規雇用者数	800人以上	985人（暫定）
市の支援による起業・創業の実現	8社以上	11社
新たな特産品開発数	1品以上	3品

6. 前期基本計画期間の取組と成果

基本方針2：教育と子育て環境を誇るまち！（教育・生涯学習・文化・子育て支援など）

主な取組

○小・中学校等の教育施設の充実

未来を担う子どもたちの教育環境の整備を推進してきました。平成30年度には、県内でいち早く全小中学校の普通教室へのエアコン設置を表明し、令和元年6月から稼働しています。また、国の補助金を活用しながら、令和2年度には、小中学校の児童生徒1人1台のタブレット端末の整備を完了しています。

○市民図書館を基軸とした複合型施設の整備検討

平成28年度から、アンケート調査でも要望が多かった市民図書館の建設を検討しています。令和2年度には、新たな特産品となった「いちじく、はちみつ」などを使ったスイーツを販売する「スイーツステーション」、屋内型の子どもの遊び場との複合施設を想定して、新たに基本方針を策定します。

○待機児童ゼロの達成

年々高まる保育需要に応えるため、保育士の確保や新たに保育所を整備することで、平成30年度・令和2年度（いずれも4月1日時点）に待機児童ゼロを達成することができました。引き続き、待機児童ゼロを含めた子育て支援の充実に努めてまいります。

前期基本計画で設定した主な数値目標の成果

目標指標	目標値	実績値（令和元年度）
市立幼稚園、小・中学校のユネスコスクール登録数	2園、13校	2園、13校
小中学校ICT機器（タブレット）の1台あたりの使用人数	3.1人	5.0人 (R2.10月末 1.0人)
小中学校図書館蔵書数	125,000冊	130,164冊
保育園待機児童数	0人	0人（H30・R2）

6. 前期基本計画期間の取組と成果

基本方針3：元気と温かい心で支えるまち！（高齢者福祉・障がい者福祉・健康・医療など）

主な取組

○高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぱす」・重度障がい者等福祉タクシー利用券の実施

平成28年10月10日から、高齢者や障がいのある方への外出支援として、仙台市の協力のもと、IC乗車証「イクスカ」を活用した乗車証を発行しています。また、平成30年10月からは、「とみぱす」を利用できない重度の障害がある方を対象に、タクシー利用券の助成を行っています。

○街角カフェの創設

地域の方々の憩い・語らいの場として、地域の皆様の運営による「街角カフェ」が市内に設立されました。現在では4地域にて設立・運営されております。

○新型コロナウイルス感染症への対応

2020年当初に発生したこの感染症は、世界を混乱に巻き込み、現在も終息の目途がたっていない状況です。国内での発生当初から、国や県などの関係機関と連携し、感染症の拡大防止、社会経済や家庭への支援を迅速に行っています。

前期基本計画で設定した主な数値目標の成果

目標指標	目標値	実績値（令和元年度）
地域交流拠点「街かどカフェ」の創設施設数	4地域	4地域
ゆとりすとクラブ・サロンの開催箇所数	22か所	22か所
就労移行支援・就労継続支援事業所数	7事業所	6事業所
高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぱす」交付率	50%	（高齢者） 38.5% （障がい者） 23.2%

6. 前期基本計画期間の取組と成果

基本方針4：市民の思いを協働でつくるまち！（防災・交通安全・人権・行政運営など）

主な取組

○富谷市行政改革基本方針・実施プランの策定

市制施行に伴う行政需要の拡大により、財政運営が危機的状況を迎える前の手立てとして、平成30年度から3か年の期間で事務事業の見直しなどの行政改革に取り組み、結果として、財政調整基金（貯金）の増加、市債（借金）の減少が図られています。

○環境省事業「地域連携・低炭素水素技術実証事業」の実施

環境省からの委託を受け、(株)日立製作所、丸紅(株)、みやぎ生活協同組合との4者による「既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証事業」を行っています。本取組は令和元年度に「プラチナ大賞優秀賞」を受賞し、本市は「プラチナシティ」の認定を受けています。

○富谷市男女共同参画基本計画を策定

平成31年3月に、男女共同参画の理念及び推進の必要性を広く普及啓発し、男女共同参画社会の形成をさらに促進するため、本計画を策定しました。計画の指標のひとつである「審議会等委員への女性登用率」は、平成31年4月1日現在、50.3%で、全国の市町村の中でも2番目の高さとなっています。また、職員のワーク・ライフ・バランスを推奨し、健康でいきいきと仕事のできる環境づくりを積極的に行っていくため、平成30年5月には県内の単独自治体では初となる「イクボス宣言」を行いました。

前期基本計画で設定した主な数値目標の成果

目標指標	目標値	実績値（令和元年度）
自主防災組織の設立数	全47町内会	38町内会
通年防犯パトロール実施町内会数	23町内会	11町内会
まちづくりの基本となるルール策定	策定	素案策定
財政健全化判断比率4指標の基準内確保	基準内維持	適正基準内

7. まちづくりアンケートの概要（速報）

1 調査の目的

今後のまちづくりに対するニーズやお考えをお聞きし、「富谷市総合計画・後期基本計画」の策定に役立てるために行ったもの。

2 調査の概要

調査対象者：富谷市内にお住まいの18歳以上の市民2,000人
(男 1,000人 女 1,000人)

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

配布回収方法：郵送による配布及び回収

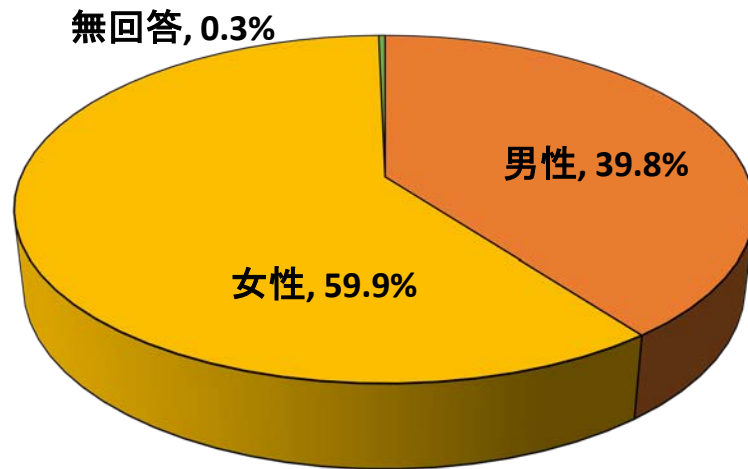
回収数：895人（令和2年10月7日現在）

有効回収率：44.8%

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

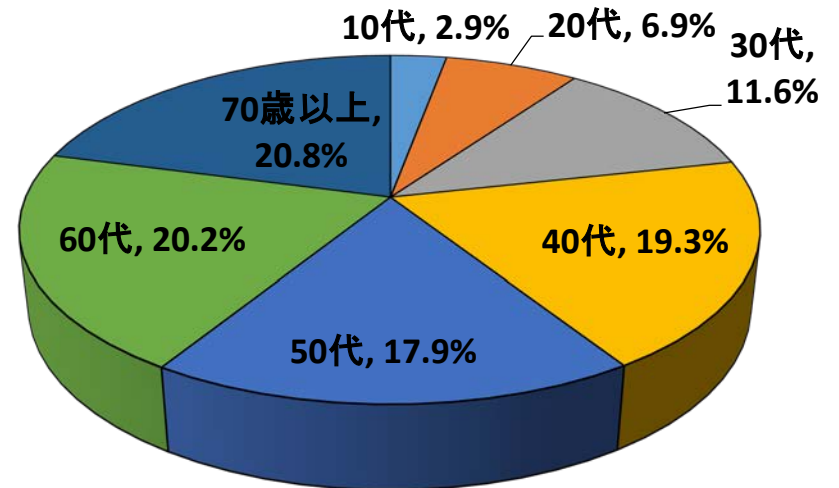
1 回答者の属性

性別



回答者の性別では、男性より女性の方が上回っている。

年齢別

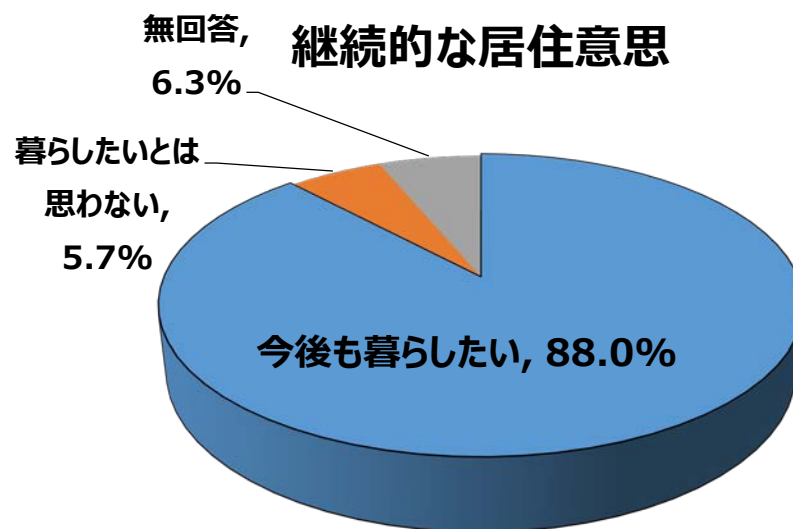


年代別で見ると70歳以上の方の割合が20.8%を占め、最も高い回答率となっており、ついで40歳代の20.2%と続いている。

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

2 富谷市の暮らしやすさに関する回答結果

（1）富谷市での継続的な居住意思

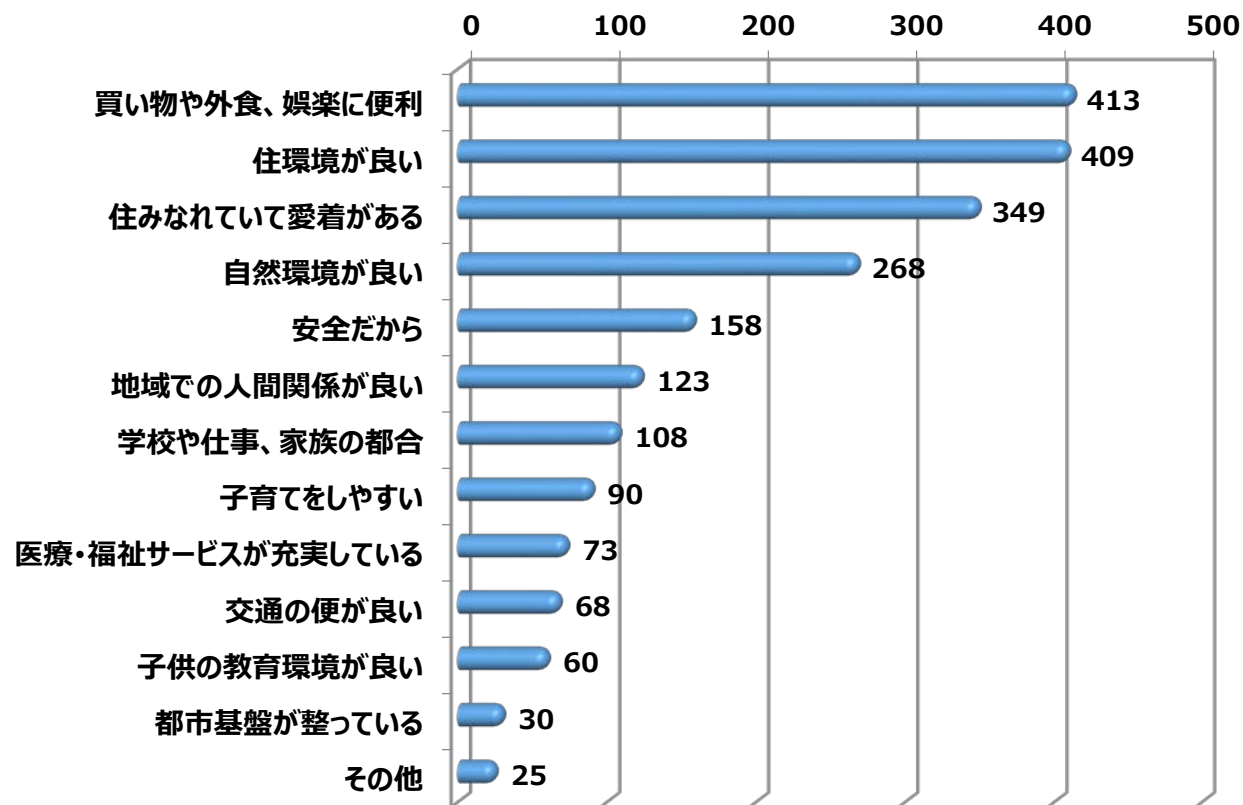


今後とも継続的に富谷市で暮らしたいと考えておられる方は、全体の実に88%を占める。
近年の東京都市圏一極集中傾向や、産業構造・社会構造の変化に伴う全国的傾向と比較すると、地域に非常に愛着を持ってもらえているといえる。

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

2 富谷市の暮らしやすさに関する回答結果

（2）今後も富谷市で暮らしたいと思う理由（複数回答）



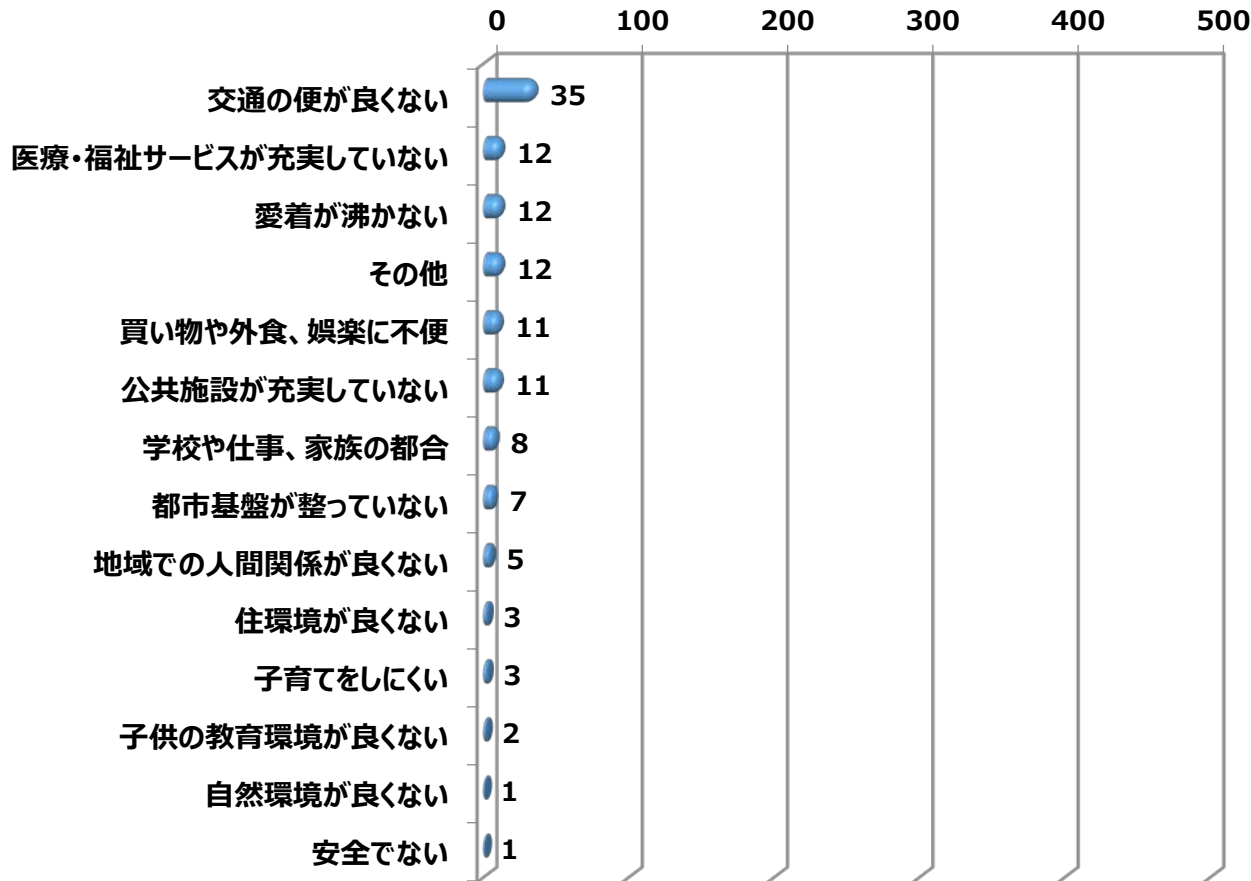
「買い物や外食、娯楽に便利」「住環境が良い」「住みなれていて愛着がある」「自然環境が良い」が、住みたい理由のトップ4を飾っている。

住環境・自然環境の良さと日常生活の利便性が高く評価されている点は、富谷市の特性が反映されているといえる。

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

2 富谷市の暮らしやすさに関する回答結果

（3）富谷市で暮らしたいとは思わない理由（複数回答）



「交通の便が良くない」と回答された方が多い。

サンプル数が少ないものの、「医療・福祉サービス」、「愛着が湧かない」、「公共施設」が充実していないが続いている。

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

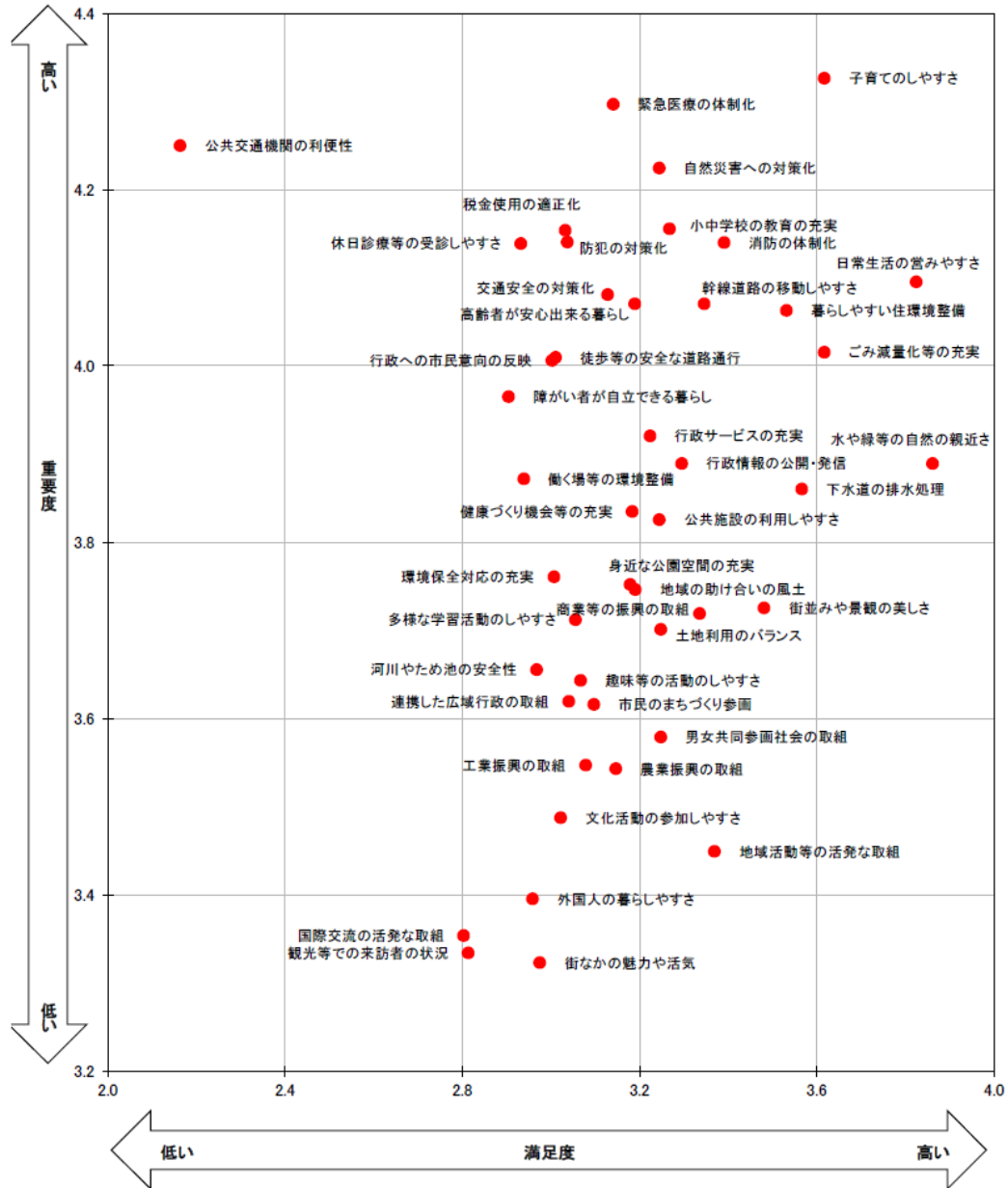
3 まちづくりに対する評価に関する回答結果

（1）既定計画の施策に対するポートフォリオ分析結果

※ポートフォリオ分析とは、顧客満足度調査等で用いられる分析手法の一つで、満足度と重要度を2次元のグラフの中に配置することにより、優先的改善項目を明らかにする分析手法である。（用語出典：総務省統計局参照）

	今回調査による分析	前回調査（H28）による分析
重点改善項目 重要度高満足度低	○公共交通機関の利便性	○公共交通機関の利便性 ○税金使用の適正化 ○行政への町民意向の反映 ※公共交通機関の利便性に対する重要性をあげる方が多い
重要性の高い項目 重要度高満足度中	○緊急医療の体制化 ○防犯の対策化 ○税金使用の適正化 ○休日診療などの受診しやすさ ○交通安全の対策化 ○高齢者が安心できる暮らし ○行政への市民意向の反映 ○安全な道路通行 ○障がい者が自立できる暮らし ○働く場の環境整備 ○健康づくり機会等の充実 ※「安全・安心」、「福祉」に関する施策項目が多い	○緊急医療の体制化 ○自然災害への対策化 ○防犯の対策化 ○消防の体制化 ○子育てのしやすさ ○交通安全の対策化 ○高齢者が安心できる暮らし ○小中学校の教育の充実 ○安全な道路通行 ○行政情報の公開・発信 ○休日診療などの受診しやすさ ※「安全・安心」に関する施策項目が多い
重点維持項目 重要度高満足度高	○子育てのしやすさ ○自然災害への対策化 ○小中学校の教育の充実 ○消防の体制化 ○日常生活の営みやすさ ○幹線道路の移動しやすさ ○水や緑などの自然の親近さ ○暮らしやすい住環境整備 ○ごみ減量化などの充実 ○行政サービスの充実 ○行政情報の公開・発信 ○下水道の排水処理 ○公共施設の利用しやすさ ※身近な生活環境に関する施策項目が掲げられている	○日常生活の営みやすさ ○水や緑などの自然の親近さ ○ごみ減量化などの充実 ○幹線道路の移動しやすさ ○暮らしやすい住環境整備 ○街なみや景観の美しさ ○下水道の排水処理 ○公共施設の利用しやすさ ○身近な公園空間の充実 ※身近な生活環境に関する施策項目が掲げられている

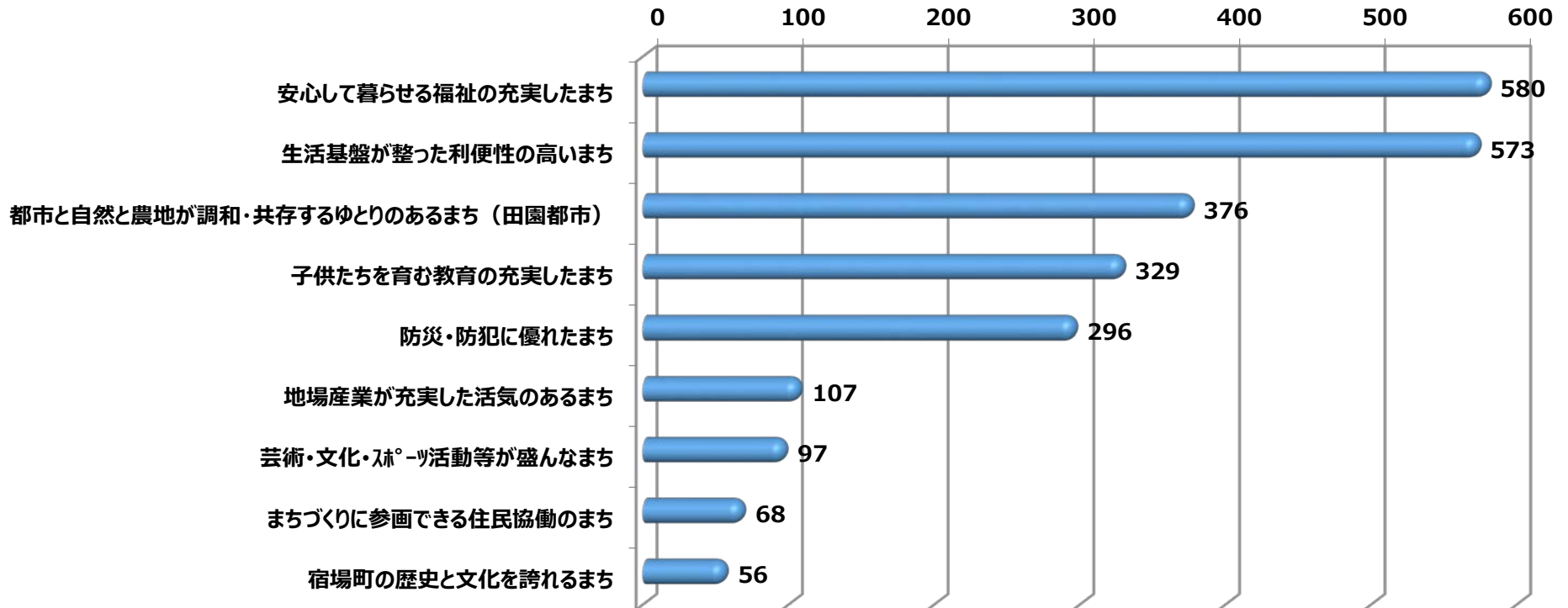
【満足度・重要度によるポートフォリオ】 【平均値】



7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

4 まちづくりの方向性に関する回答結果

（1）目指すまちづくりの方向性（複数回答）



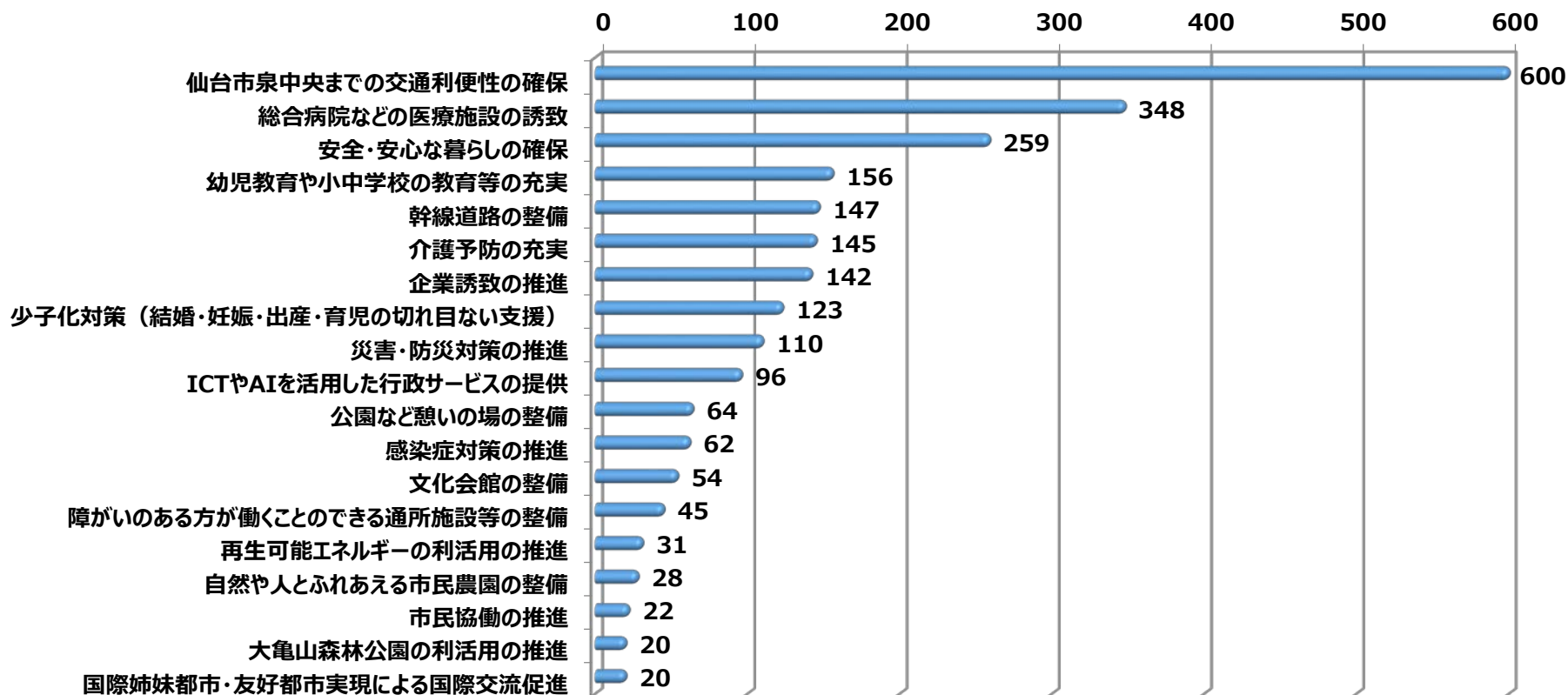
富谷市が目指すまちづくりの方向性として望む声は、「安心して暮らせる福祉の充実したまち」と「生活基盤が整った利便性の高いまち」の2つの方向性が圧倒的に多くなっている。

ついで、「子どもたちを育む教育の充実したまち」「防災・防犯に優れたまち」が続く。福祉、生活・自然環境、教育、安全・安心を求めていることが見て取れる。

7. まちづくりアンケートの集計結果（速報）

4 まちづくりの方向性に関する回答結果

（2）富谷市として必要な施策（複数回答）



「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」を求める声が圧倒的に高くなっている。次いで「総合病院などの医療施設の誘致」を求める声が高くなっている。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針1：暮らしを自慢できるまち！（企業誘致・公共交通・道路・住環境など）

主な取組

○企業誘致、起業・創業支援

市内の工業用地に多様な企業の誘致活動を進め、市民の雇用機会の拡大を図るとともに、「富谷市まちづくり産業交流プラザ（とみぷら）」を活用したハンズオンにより起業・創業を支援します。また、コロナ禍においてクローズアップされた「テレワーク」等が行える環境整備と利用促進を図ります。

○農業

ブルーベリーの生産拡大を図るとともに、さらなるブランディングを行っていきます。課題となっている農業の後継者不足の解決に向け、認定農業者及び新規就農者の育成・確保に努めるとともに、関係機関との連携により、集落営農組織の育成を推進していきます。また、農業用施設の適正な維持管理を行い、優良農地の保全と有効活用に努めるとともに、近年被害が拡大している有害鳥獣への対策を強化します。

○商業・観光

しんまち地区の旧醤油屋跡地をリノベーションした「富谷宿観光交流ステーション（とみやど）」を新たな観光拠点として、本市の魅力を発信し、交流人口の拡大を図ります。また、「とみぷら」、「とみやど」を有機的に連携させ、しんまち地区の住民や関係機関とともに、歴史を感じさせる街並の保全に取り組むとともに、歴史・文化資源を活用しながら、しんまち地区の活性化を進めます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針1：暮らしを自慢できるまち！（企業誘致・公共交通・道路・住環境など）

主な取組

○観光・地域振興

「スイーツのまち」としてのブランディングを進めるため、「とみやスイーツフェア」を充実させるとともに、観光客や市民がスイーツを核とした豊かな時間や体験を享受できる拠点となるスイーツステーションの整備に向けて、規模や建設予定地等の検討をしていきます。

また、しんまち地区の旧醤油屋跡地をリノベーションした「富谷宿観光交流ステーション（とみやど）」を新たな観光拠点として、本市の魅力を発信し、交流人口の拡大を図ります。また、「とみふら」、「とみやど」を有機的に連携させ、しんまち地区の住民や関係機関とともに、歴史を感じさせる街並の保全に取り組むとともに、歴史・文化資源を活用しながら、しんまち地区の活性化を進めます。

○公共交通

「都市・地域総合交通戦略(基本計画)」に掲げる各種施策の展開を進め、交通関連事業とまちづくりが連携した、総合的かつ戦略的な都市交通施策の推進を目指します。また、基本計画の中心となる仙台市との交通アクセス向上に向けた「基幹公共交通の整備」について、市内南部を拠点とした泉中央駅からの基幹公共交通の整備に向けた取組を進めていきます。

○住環境

市民アンケートでも住み続けたい理由として挙げられていた「住環境」と「自然環境」が調和・共存するまちづくりを進めていきます。

広域幹線道路は、仙台北部道路の4車線化や富谷JCTのフルジャンクション化について、引き続き関係機関に働きかけていきます。また、公営墓地とパークゴルフ場を備えた「（仮称）やすらぎパークとみや」の整備を計画的に進めるとともに、整備後の効率的な管理運営についても検討していきます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針2：教育と子育て環境を誇るまち！（教育・生涯学習・文化・子育て支援など）

主な取組

○教育・青少年健全育成

いじめ、不登校等への対応や心のケアの充実を図るため、とみや子どもの心のケアハウスや教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる支援・総合的な相談体制の構築に取り組みます。

○教育・国際交流

ユネスコスクールに登録した全市立幼稚園及び小中学校において、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた、「持続可能な開発のための教育（ESD）及び平和、異文化理解教育」を推進します。また、次代を担う子どもたちに情報活用能力を育むため、1人あたり1台となるタブレットを活用した学習の着実な充実に努めます。

○生涯学習

富谷市教育振興計画に準拠し、生涯学習推進体制の整備を図り、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。また、「（仮称）新富谷市図書館整備基本構想」、「富谷市民図書館整備基本計画」に基づき、富谷市民図書館の整備を推進するとともに、スイーツステーションと児童屋内遊戯施設との複合化についても、調査、研究を進めます。

○スポーツ

総合的なスポーツ推進体制を充実させ、既存施設を活かしながら、スポーツ交流の推進や競技力向上など、市民誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。また、マラソン大会や障害者スポーツイベントなど、多世代が参加できるイベントの開催など、スポーツを通じた交流の場の促進に努めます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針2：教育と子育て環境を誇るまち！（教育・生涯学習・文化・子育て支援など）

主な取組

○芸術・文化

民俗ギャラリーや内ヶ崎作三郎記念館の活動を通じて、相互施設の連携を図り、文化財の保護や郷土への愛着や誇りを醸成するとともに、地域特性や利用機能を十分に考慮し、市民が利用しやすい施設整備に努めます。また、宿場町の歴史や文化を次世代に残す取組を進めます。

○子育て支援

「とみや子育て支援センター（とみここ）」では、主に就学前の母子を対象に、乳幼児健診や各種教室、育児相談、個別支援等を行い、妊娠期から子育て期までの間、安心して子育てをしてもらうため、包括支援の充実を図ります。

市立保育所をはじめとした、認可保育所、認定こども園等の保育環境整備を進めるとともに、保育の資質向上を促進し、今後の保育施設の増設を検討しながら、待機児童ゼロの継続を目指します。

また、子育てサロン事業を充実させ、子育て親子が安心して過ごせる居場所づくりを推進し、児童屋内遊戯施設の開所に向け、施設整備方針を基に、遊具等が充実した施設となるよう整備を進めていきます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針3：元気と温かい心で支えるまち！（高齢者福祉・障がい者福祉・健康・医療など）

主な取組

○高齢者支援

福祉健康センターを介護予防の拠点として機能強化を図るとともに、地域の方を地域の方が支える仕組づくりを推進する「街角カフェ」、「ゆとりすとサロン・クラブ」の拡大を図るとともに、介護予防事業の担い手となる運動サポーターや生活支援員の養成を推進していきます。また、認知症対策を強化し、認知症サポーターの養成を推進するとともに、認知症にやさしい地域づくりを推進します。

○健康・保健

感染症予防についての正しい知識の普及啓発や情報提供、速やかな対策を講じ、感染症のまん延防止に努めます。

また、各種検（健）診の周知と受診啓発に取り組み、受診しやすい体制づくりを進め、未受診者対策の強化を図るとともに、生活習慣改善や疾病予防・重症化予防など、関係機関と連携のもと、効果的な支援が受けやすい体制を進めます。

○医療

公立黒川病院と地域の医療機関との連携により、日常の安心できる医療体制の構築を進めるとともに、感染症などに備え、保健所や黒川医師会等と連携していきます。また、救急医療及び総合医療を担う病院の誘致に積極的に取り組みます。

○障がい者支援

関係機関と連携しながら、障害がある方の雇用の場の確保を図り、障がい者や保護者、介護者が生涯安心して暮らせるよう、自らライフプランづくりを進められる環境を整え、指定相談支援事業所と連携を図りながら支援強化していきます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針3：元気と温かい心で支えるまち！（高齢者福祉・障がい者福祉・健康・医療など）

主な取組

○障がい者・高齢者支援

平成28年10月から実施しているICカード乗車証「とみぱす」の円滑な運用を図るとともに、平成30年10月から運用を開始した重度の障がいや要介護状態の方を対象としたタクシー利用料金の一部助成制度の周知を図り、社会参画と安全安心な移動を支援することにより、高齢者、障がい者の生活を支えていきます。

○家族コミュニティ

三世代が同居・近居できる環境整備を図るため、市内における雇用の場の創出、子育てをしやすい環境づくり、高齢者が安全で安心して住み慣れた地で暮らすことができる環境づくりに努めていきます。

○地域コミュニティ

街角カフェやゆとりすとサロン・クラブといった、地域の方が共に支え合う仕組づくりを推進するとともに、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア、町内会等の地域の社会資源のネットワークと協働連携により、地域で福祉を支える体制の充実を図っていきます。

○地域活動

市民のボランティア意識の醸成に向けて、福祉教育などの取組と、地域を支えるサポーターの養成などに努めていきます。また、高齢者・障がい者の権利擁護のため、虐待の防止や成年後見制度利用の支援と福祉サービス利用の援助体制を強化するとともに、生活困窮者や権利擁護など、社会的に援護を要する人の自立と社会参加を支援する体制づくりに努めます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針4：市民の思いを協働でつくるまち！（防災・交通安全・人権・行政運営など）

主な取組

○防災・救急・消防

国土強靱化地域計画・富谷市地域防災計画をもとに、ハード・ソフトの両面から、平時からの防災・減災体制の確立を目指すとともに、新型コロナウイルス等の感染症拡大に配慮した避難所運営など、社会環境の変化に対応した防災への取組を図ります。

○防犯・交通安全・消費生活

防犯への取組として、大和警察署からの助言をいただき、各中学校区への防犯カメラの設置を行います。また、交通安全に関しては、大和警察署等の関係機関との連携により、交通危険箇所の解消と改善を図るとともに、地域ぐるみの交通安全運動の展開を図ります。

○人権尊重・男女共同

人権教育の推進と人権相談体制の充実を図るとともに、富谷市男女共同参画基本計画に基づき、あらゆる世代の市民が、子育て、介護、ハラスメント、性的指向・性自認などのテーマにおいて、男女共同参画の重要性についての認識を継続的に深めることができるよう、普及啓発の充実を図っていきます。

○環境衛生

富谷市一般廃棄物処理基本計画に基づき、関係機関と連携しながら適正処理を進めます。経済性にも十分配慮した、効率的で適正なごみ処理システムの構築を目指すとともに、新たなリサイクル処理施設整備について検討していきます。

また、「富谷市空家等対策計画」に基づき、市内の景観や防犯性の向上に努め、利用しなくなった空き家の利活用を進めるため、所有者や民間事業者との連携を図りながら、様々な取組を行っていきます。

8. 後期基本計画期間中の主な取組（案）

基本方針4：市民の思いを協働でつくるまち！（防災・交通安全・人権・行政運営など）

主な取組

○省エネルギー・自然エネルギー

地域新エネルギービジョン、省エネルギービジョンに基づき、家庭や企業、行政への省エネルギー化を啓発していくとともに、水素社会の実現に向けた環境教育や普及啓発の実施、「富谷市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」による、太陽光などの再生可能エネルギーの適切な普及促進を図り、低炭素社会の形成を進めていきます。

○住民参加・協働

広報紙やホームページ、SNSなどの一層の充実を図り、市民の暮らしにつながる行政情報を発信、本市の魅力の積極的なPRに努めます。また、（仮称）富谷市協働のまちづくり推進指針に基づき、まちづくりの担い手となる市民や団体、企業、市などの多様な主体が、連携・協力しながらまちづくりに取り組むことができるよう、多様な主体の活動等に関する情報の収集や発信、交流の促進など、協働推進のための仕組づくりを進めていきます。

○行財政経営

的確な収入の見通しのもとで効率的に財源を配分し、行政改革などの意識改革による義務的経費や一般行政経費の支出抑制を図りながら、持続可能な行政経営を進めていきます。

また、コロナ禍をきっかけとして、ICTやAIを活用した働き方や住民サービスの転換が求められることが予想されるため、行政事務のデジタル化の推進を図っていきます。